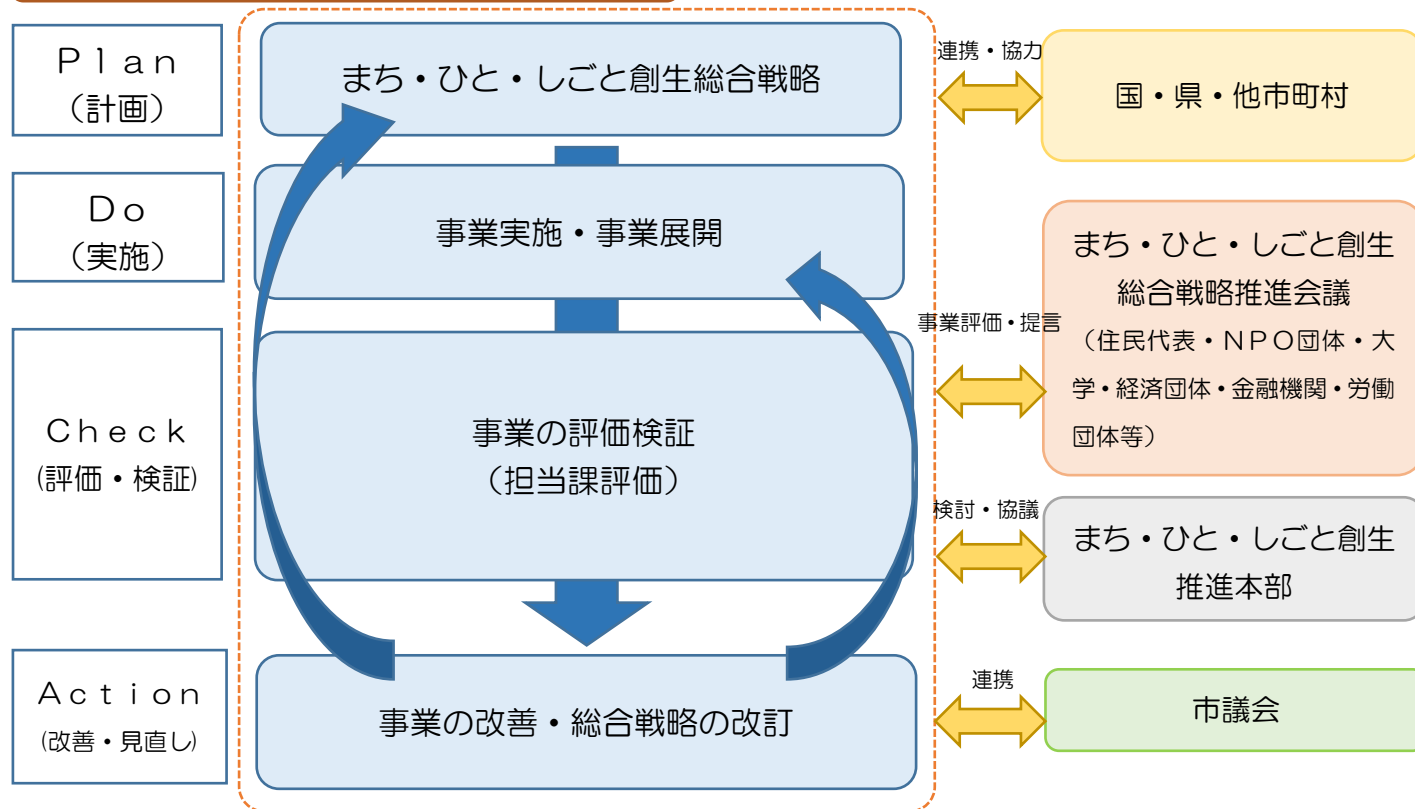


（単位：項目）

基本目標／委員評価	A評価	B評価	C評価	D評価
基本目標 1	4	8	1	0
基本目標 2	10	4	0	2
基本目標 3	5	6	3	3
基本目標 4	2	6	1	1
全体（合計）	21	24	5	6

PDCAサイクルの構築と推進体制



会議の開催状況

【まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議】

開催日	会議名	内容
令和2年6月10日	令和2年度第1回会議	石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略について概要説明
令和2年7月8日	令和2年度第2回会議	令和元年度総合戦略掲載KPI実績に係る評価検証①（基本目標1～2） 基本目標における数値目標の達成状況
令和2年7月15日	令和2年度第3回会議	令和元年度総合戦略掲載KPI実績に係る評価検証②（基本目標3～4） 地方創生関係交付金活用事業に係る評価検証 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業に係る評価検証

石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略
事業達成状況（令和元年度実績）

進捗管理及び総合戦略の改訂

平成27年12月に策定した「石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、少子化に伴う人口減少や東日本大震災による人口流出を阻止するため、地域課題に基づき設定されたKPI等の達成状況を確認し、総合戦略の進捗の検証と改善を行っていくPDCAサイクルを確立することとしている。

外部委員で構成する「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」による施策効果の評価や進捗状況の検証を行い、庁内のまち・ひと・しごと創生推進本部や市議会への説明を行っている。また、必要に応じて総合戦略を改訂しており、平成28年12月はKPI等の見直し、令和元年12月は計画期間の1年延長とそれに伴う数値目標及びKPI等の見直しを行っている。

重要業績評価指標（KPI）評価検証方法

KPIについて、事業実績と改善点・工夫点の2つの視点で、個別に◎、○、×の3段階で評価をいただき、評価の中で最も多かった意見を基に総合評価を算出した。

なお、事業実績と改善点・工夫点の評価基準及び総合評価算出表は以下のとおり。

【事業実績、改善点・工夫点の評価基準】

評価	事業実績	改善点・工夫点
◎	目標以上に進捗しており、継続して事業を推進する。	改善点もしくは工夫点について非常に評価できる
○	ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。	改善点もしくは工夫点について評価できる。
×	目標を下回っており、要因の分析と事業内容の見直しを要する。	改善点もしくは工夫点について見直すべきである。

【総合評価算出表】

事業実績／改善点	◎	○	×
◎	A	A	B
○	A	B	C
×	B	C	D

基本目標 1 東日本大震災からの復興まちづくりを完結させる

No.	主な重要業績評価指標 (KPI)	R1目標	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
				実績	◎	A		
12	津波防災拠点整備事業完成率 100%	100%	100%	実績	◎	A	ささえあいセンターは2次避難所ということで、子どもセンターから直接避難できないことを知り、緊急時の安全確保に繋がらなかったことが非常に残念である。緊急時の体制など詳細を教えてください。	子どもセンター「らいつ」では、石巻市民津波避難計画を基に作成した対応マニュアルに基づき、来場者は指定避難場所である羽黒山に一時避難し、指定避難所が開設された場合には、最寄の避難所に避難していただくことを想定している。ささえあいセンターは、一般避難所では避難生活が困難な高齢者等の配慮を要する方が円滑な利用を確保するための福祉避難所となっているため、緊急時に直接避難はできないが、子どもセンターの避難状況により、配慮を要する方の把握を行い、安全確保に努めていく。
				改善点	○			
15	津波避難タワー整備、津波避難ビル指定件数 45件	45件	40件	実績	○	B	津波避難ビルの表示をもっと大きくしてほしい。	津波避難ビルのピクトグラムについては、協定を結んでいる民間企業等で独自に設置しているものであることから、現在設置されている表示については修正が難しい状態であるが、今後の設置が見込まれる津波避難ビルに関しては、サイズの大きさや視認性などについてアドバイスしていく。
				改善点	○			
17	空き家等の活用件数 (H27年度～R2年度累計) 15件	15件	13件	実績	○	C	個別相談の充実化が必要であると感じている。	個別相談については、司法書士や不動産業者の相談先を紹介するとともに、各専門家と連携した無料の相談会を実施しているが、充実化については更に検討していく。
				改善点	×			

基本目標 2 人材を育成し安定した雇用を創出する

No.	主な重要業績評価指標 (KPI)	R1目標	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
				実績	◎	A		
24	6次産業化事業計画認定数 (H27年度～R2年度累計) 20件	20件	9件	実績	×	D	支援員の質の向上・維持について発注者としての責任を持つことを期待する。当該事業の有効活用により、特色ある事業者の発掘・支援を推し進めてほしい。	特色ある事業者の発掘・支援をするには、支援員の専門的な知識や経験が不可欠であり、支援員の質の向上・維持についても当然必要になってくるため、支援員の後方支援を模索・検討していく。
				改善点	×			
30	道の駅来場者数 1,050,000人	1,050,000人	910,092人	実績	○	B	イベントなどの広告をもっとしてもいいのではないかな。	新聞に折り込みしていた上品の郷だよりは、経費節減のため終了した。今後は現在の情報発信形態のほか、地元テレビやラジオの情報コーナーを更に活用し、より多くの誘客に繋げていきたい。
				改善点	○			
31	外国人観光客宿泊者数 3,000人/年	2,200人/年	2,429人/年	実績	◎	A	田代島のねこ島アピールについて、ユーチューブ等を使ってもう少しアピールすると、世界のねこ好きが来るのではないかな。	昨年は人気動画クリエイターのプロデュースにより田代島及び金華山、ホエールタウンおしかの動画をユーチューブ配信し、動画配信の効果を実感していることから、新型コロナ収束状況を見極めながら、今後も国内外に向けた効果的な情報発信をしていきたい。
				改善点	○			

基本目標 3 絆と協働の共鳴社会をつくる

No.	主な重要業績評価指標 (KPI)	R1目標	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
				実績	◎	A		
35	地域包括ケア推進拠点設置件数 7か所	1か所	1か所	実績	○	B	支援内容・体制を明確にし、相談者に寄り沿って迅速に支援する体制を強化していただきたい。	「断らない相談」「たらい回ししない」をモットーに、相談者のアセスメントを行い、課題の把握や緊急性の判断を行うなど迅速な対応に努めていく。また個別の検討会議や関係者とのネットワーク会議を行い連携体制の構築を進めていく。
				改善点	○			
40	都市公園愛護会結成数 125団体	120団体	127団体	実績	◎	A	子ども会の機能がなくなってきている。高齢者相互の関係づくりに加え、親子とのふれあかも大事にしてほしい。学校教育、社会教育の中でも啓発してもらい、特に公園清掃は合同で実施するところに価値を深めることができると思う。	公園愛護会活動は、高齢者や子供相互の交流のほかに、三世交流の場にもなることから、地域コミュニティの一体感の醸成に寄与するものと考えている。今回ご提案いただいたことを踏まえ、より一層公園愛護会活動の促進に取り組んでいく。
				改善点	○			
44	移住コンシェルジュへの相談件数 30件/年	30件/年	21件/年	実績	×	C	子育て世代からの質問はどんな内容があるのか。その世代へのアプローチはあるか。	移住支援金や子育て支援金の有無、移住検討地域の学校や児童館、治安や自然環境等に関する問い合わせがあり、実情を説明している。アプローチについては、令和2年度については、HP等を活用して子育てしている起業家のインタビューなどの発信を検討しており、子育て支援団体とも連携しながら情報発信していきたい。
				改善点	○			

基本目標 4 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

No.	主な重要業績評価指標 (KPI)	R1目標	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
				実績	◎	A		
57	保育施設待機児童数 0人	0人	12人	実績	○	B	公立保育所・幼稚園・こども園においても十分に必要な人員を確保していただきたい。	現在、会計年度任用職員(保育士)の採用を行い、人員の不足とならないよう施設ごとに必要な配置を行っている。配置については国の基準より多く配置し、手厚い保育となるよう対応している状況である。今後、公立施設の統廃合を進めていく中で、保育士の十分な人員の配置についても考慮していきたい。
				改善点	○			
58	放課後児童クラブ待機児童数 0人	0人	170人	実績	×	C	親が迎えに来るまでの終了時間について課題は何かあるか。	放課後児童クラブは午後6時までとしており、今のところ午後6時より遅い時間までの開設を希望する声が多くあがっている状況にはありません。
				改善点	○			
61	スクールカウンセラーの配置率 100%	100%	100%	実績	◎	A	スクールカウンセラーは、保護者にも子どもにも必要な人だと感じている。	スクールカウンセラー配置事業は、児童生徒、保護者も含めて諸問題の未然防止や早期対応による解決の一助につながっていることから、今後も必要であると考えている。
				改善点	◎			